

橿原市第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 取組体系案 について

総合戦略策定ワークの報告と取組体系案の提示

総合戦略策定ワークについて

ワークの目的

- 令和2年度から令和6年度までの「第2期橿原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に向け、その素案の策定を目的とする。
 - 第1次総合戦略を振り返り、これまで取り組んだ施策を取捨選択する
 - 国の動向を見据えて新たな視点を取り入れる
 - 橿原市として今後5年間に重点的に進めていく地方創生の施策を検討する

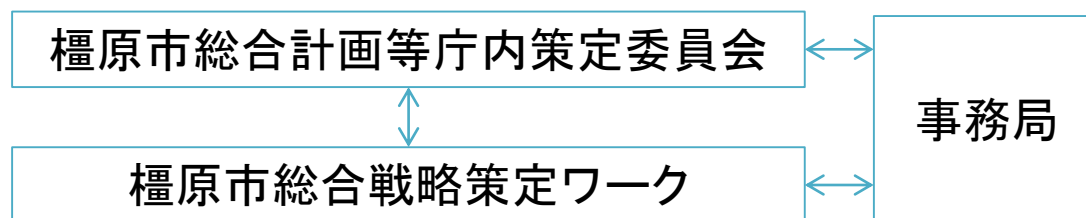
主な作業

- ① 基本的な枠組み(4つの基本目標、基本的方向)の見直し
- ② 第1期総合戦略の取組の取捨選択
- ③ 横断的かつ官民連携による新たな取組の構築
- ④ 各取組に関連する事務事業の検討
- ⑤ 数値目標・KPIの検討

ワークのメンバー

- 座 長:総合政策部部長心得
- メンバー:部長から指名された副部長
- 事務局:企画政策課
- ファシリテーター:(株)地域計画建築研究所・アルパック(委託会社)

ワークの位置付け



総合戦略策定ワーク 名簿一覧

部 局	役 職	氏 名
総務部	副部長	松村 吉偉
総合政策部	部長心得	山風呂 佳史
	副部長	西村 明
生活安全部	副部長	砂田 昌克
魅力創造部	副部長	細川 長人
市民活動部	副部長	松村 恒雄
福祉部	副部長	渡海 恒
健康部	副部長	井原 ひろみ
環境づくり部	副部長	塩野 昇
まちづくり部	副部長	川田 茂人
教育委員会事務局	副局長	栗原 照仁
議会事務局	副局長	岩本 仁
上下水道部	副部長	岡本 経二郎

座 長

第2期総合戦略で目指すもの

人口減少の克服

出生を増やす

転入を増やす

転出を抑制する

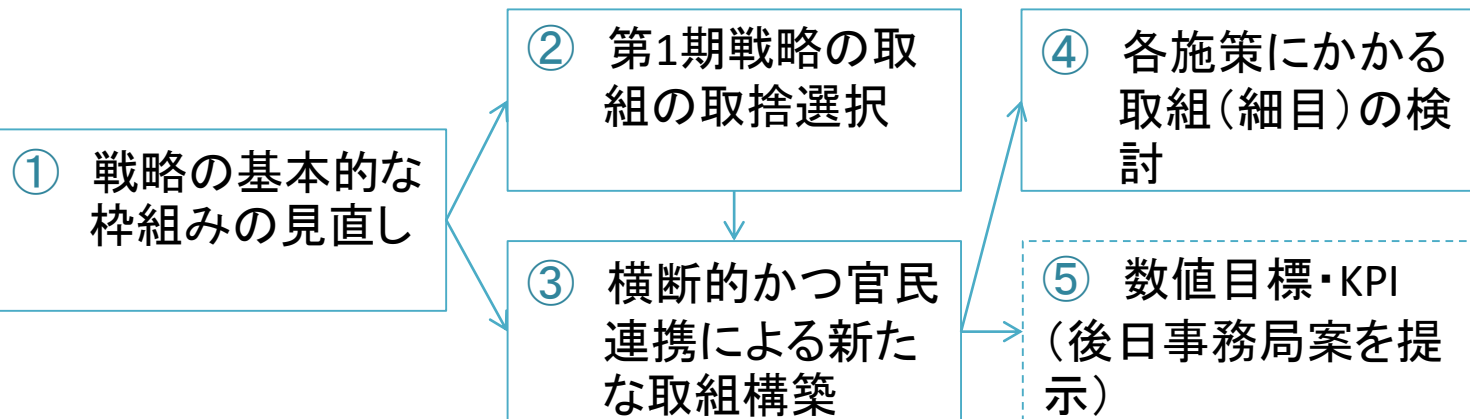
地域経済縮小の克服

しごと・働く場を増やす

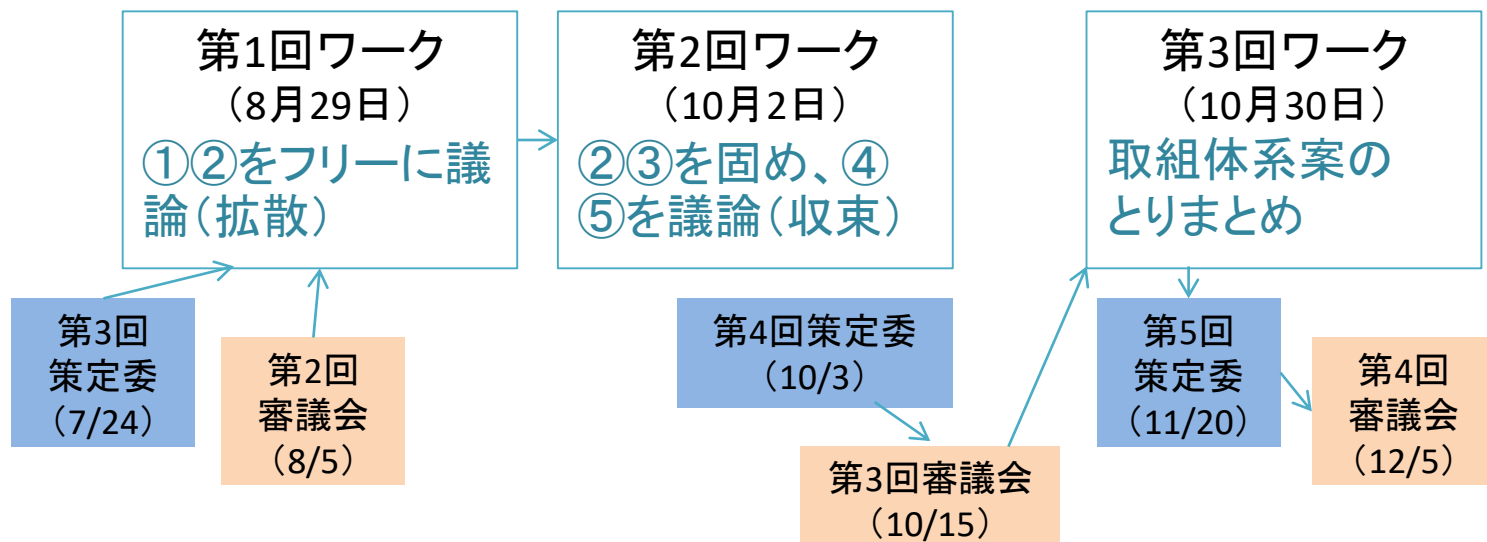
交流・関係人口を増やす

総合戦略策定ワークのスケジュール

作業のイメージ



スケジュール



戦略の「重点施策（基本的方向）」を考える際のものさし

対象は明確か

- 誰が対象か 世代（20代、30代、40代・・・）
性別、家族形態、就労形態・・・
- どのような企業、団体等が対象か

人口減少抑制への寄与度は高いか

様々な分野への波及効果が高いか

檀原市らしさは備わっているか

国の交付金獲得に必要な「先駆性要素」を備えているか

ワークの概要と重点施策(基本的方向)の抽出

第1回ワーク

基本目標	基本的方向	重み
1 地域の特性を活かしたしごとをつくる	① 観光交流産業を振興する	
	② 「かしはら版ヘルスケア産業」を支援する	1
	③ 新たなしごとづくりを支援する。	3
	④ 樫原でしごとをしたい人を支援する	1
2 新たな人の流れや交流を増やす	① 「樫原」の魅力を広く発信する	3
	② 来訪者の増加を図る。	
	③ 樫原への移住を促進する。	4
3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	① 結婚したいと思う人を支援する	2
	② 安心して子どもを産み育てられる環境をつくる	9
	③ 樫原の子どもたちに魅力ある学校教育を提供する	3
	④ 男女が協力して子育てできる環境をつくる	
4 安心して便利に暮らせるまちをつくる	① 多極ネットワーク型のコンパクトなまちづくり	
	② 「医学」を基礎としたまちづくり（MBT構想の展開）	1
	③ 安心して暮らし続けることができるまちづくり	8
	④ 歴史と風土を活かしたまちづくり	
	⑤ 多様な主体との連携・協力によるまちづくり	1

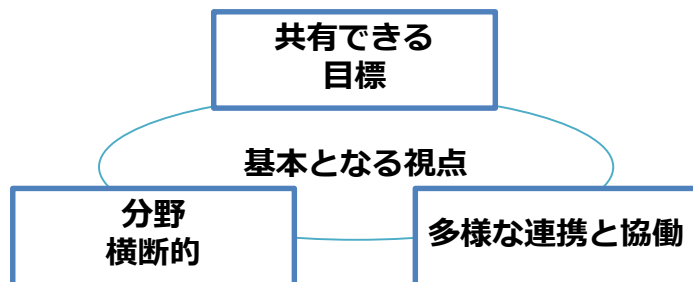
第2回ワーク

目標	プロジェクトの核となる取組み
1	01. 企業立地促進に向けた一段上の優遇策
	02. 医大周辺の企業立地環境整備と企業誘致
	03. 創業・起業支援制度の拡充
	04. 起業の場づくり
	05. しごと・雇用・求人の情報発信・マッチング
	06. 起業に結びつく教育・人づくり
2	07. 「日本国はじまりの地」の観光広域連携と市民や来訪者による発信力アップ
	08. 移住促進プロモーション（人にスポット）
	09. 今井町の保全整備をはじめ、古民家・空き家の再生・活用支援
	10. 「樫原にうまいもんあり」開発・発信
	11. スポーツを軸とした魅力あるまちづくりとPR
	12. 国内外の観光客誘致と環境整備
3	13. 切れ目のないプラットフォームづくり
	14. 若者のステージに応じた助成策（結婚→出産→子育て→教育）
	15. 結婚したいと思う人の機会づくり
	16. 他市より質の高い保育の充実（保育所、保育士確保）
	17. 医大と連携した最先端の母子医療体制
	18. 学校の魅力アップ（ICT、最先端、快適等）
4	19. 「あんしん遊び場（仮）」の再生整備
	20. 防犯見守りシステム・ネットワーク
	21. 災害時の官民連携の安心避難支援体制
	22. まちなかライフサポート拠点のネットワーク（「MBT構想」の展開）
	23. 自治会・コミュニティ活性化
	24. オールドタウン再生・持続可能なまちづくり
	25. 新たな技術を活かした移動確保の仕組み
	26. 八木駅活性化+JR畝傍駅前まちづくり活性化



第2期総合戦略とは

- 本市では平成28年3月に「橿原市まち・ひと・しごと総合戦略ーみんな活躍するまち かしはら」を策定し、地方創生に取り組んできました。
- 第2期総合戦略は、その到達点を踏まえながら、基本構想に定める将来ビジョン「はじまりから未来へ、つながりきらめくまち かしはら」を戦略的に実現するための計画です。
- 本市においては今後一定の人口減少が見込まれます。しかし、そのようななかで、住みやすさやまちの魅力の向上、働く場の充実などによりできるだけ人口減少を食い止め、さらに交流人口や関係人口の増加により本市の活性化を図るなど、まち・ひと・しごとが好循環する持続可能なまちづくりを進めていく必要があります。
- そのためには多様な主体が目標を共有し、相互の連携と協働により分野横断的に取り組んでいくことが不可欠なことから、次の視点を基本に備えた重点施策を設定します。



本市の強みを活かす

具体的な重点施策は、次のような本市の強みを活かして設定します。

① 歴史を活かす

“日本国はじまりの地 橿原^(かしはら)”のキャッチフレーズに象徴されるように、本市には大和三山や藤原宮跡、古墳群、今井町や八木町などの中世の町並みが残されており、これらをつなぐ物語性のある歴史自然環境は、全国に類を見ません。この優れた資源を大切に継承するとともに、これらを積極的に活かしたまちづくりを進めます。

② 交通利便性を活かす

古くから東西南北の交通・交流の要衝として栄えた本市は、京奈和自動車道の完成を目前にして、新たな発展の可能性が高まっています。この優れた条件を活かし、働く場があり、便利で活力あるまちづくりを進めます。

③ 住みやすさを活かす

本市では、中南和地域の中核都市として、生活施設が整い利便性の高い住宅地の整備が早くから進められてきました。また奈良県立医科大学を中心とした最先端の医療環境や、あらゆるスポーツに対応できる施設も整備されており、たくさんの人々が交流する地となっています。こうした住みやすさを維持・向上し、さらに住みたくなる魅力を備えたまちづくりを進めます。

重点施策（基本的方向）



① 歴史を活かす

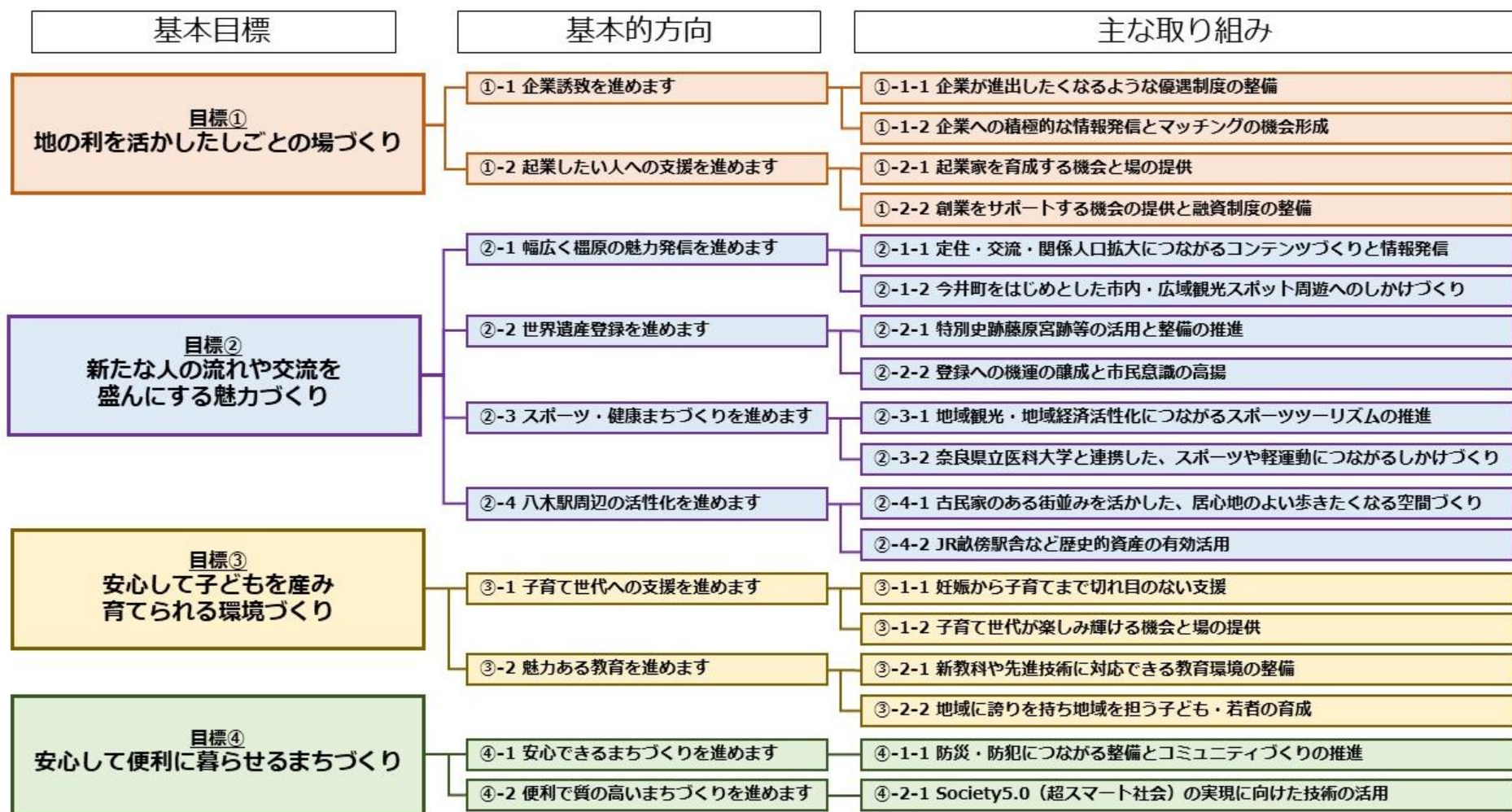
② 交通利便性を活かす

③ 住みやすさを活かす

第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略

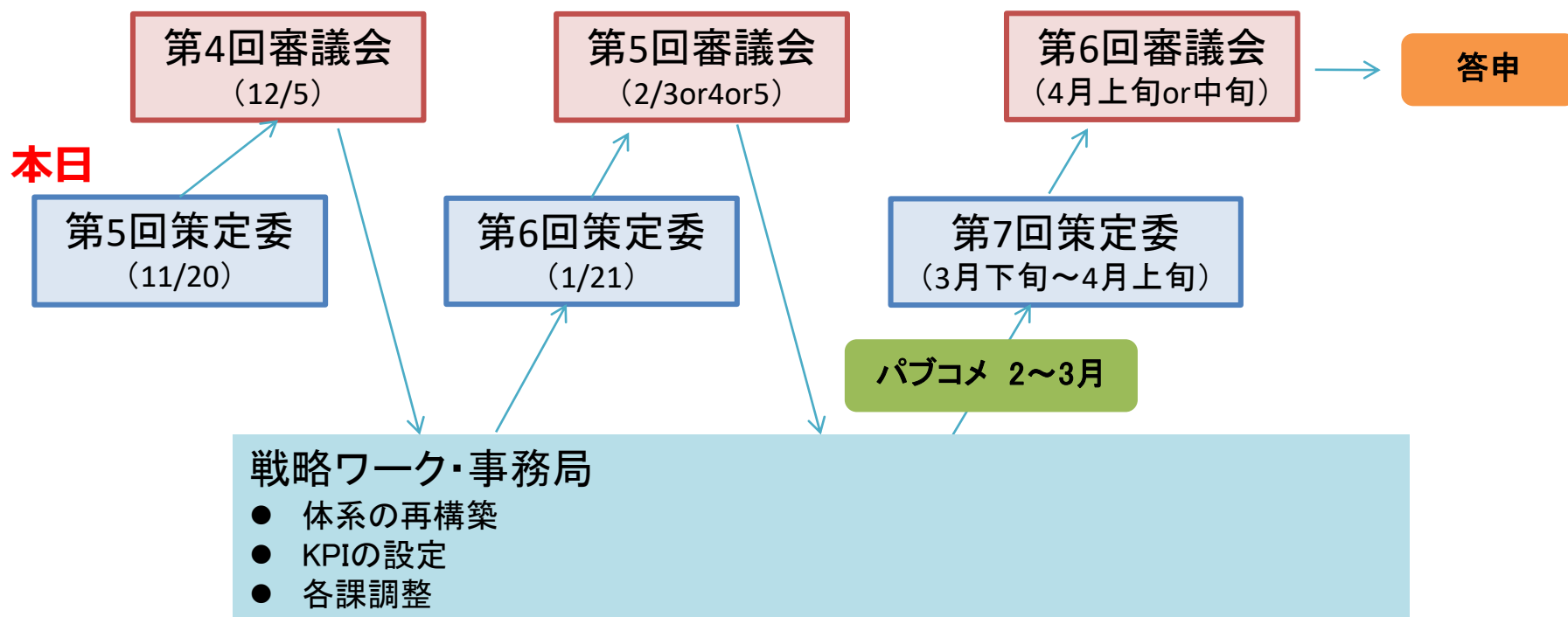
基本理念	基本目標・数値目標	基本的方向	具体的な施策
みんな 活躍するまち・かしはら	<div>地域の特性を活かしたしごとをつくる</div> <div>数値目標 (H31)</div> <ul style="list-style-type: none">市内事業所数: 5,360箇所市内事業所の従業員数: 52,000人	<div>観光交流産業を振興する</div> <div>「かしはら版ヘルスケア産業」を支援する</div> <div>新たなしごとづくりを支援する</div> <div>梶原でしごとをしたい人を支援する</div>	<div>中心市街地における賑わいの創出支援／土産物やグルメの開発やPRの支援 等</div> <div>ヘルスケア産業の立地促進のための支援制度の検討／「医療ツーリズム」による雇用創出の支援 等</div> <div>融資制度の検討／創業支援／企業立地の促進と事業拡大の支援</div> <div>大学生等の就職支援／若い世代や女性、UIJ ターン者、障がいのある方の就業支援 等</div>
	<div>新たな人の流れや交流を増やす</div> <div>数値目標 (H31)</div> <ul style="list-style-type: none">観光客数: 319万人住みやすいと思う人の割合: 90.0%	<div>「梶原」の魅力を広く発信する</div> <div>来訪者の増加を図る</div> <div>梶原への移住を促進する</div>	<div>シティプロモーション体制の構築／観光地・居住地としてのPR</div> <div>観光中長期計画策定・観光基本条例制定／広域観光ルートの形成／来訪者増加への取り組みの充実 等</div> <div>奈良県人会とのネットワークの構築／空き家の実態把握・情報発信・利活用の推進／空き家相談会の開催 等</div>
	<div>若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる</div> <div>数値目標 (H31)</div> <ul style="list-style-type: none">結婚したい人の割合: 75.0%希望通りの子どもの数をかなえられる人の割合: 80.0%	<div>結婚したいと思う人を支援する</div> <div>安心して子どもを産み育てられる環境をつくる</div> <div>梶原の子どもたちに魅力ある学校教育を提供する</div> <div>男女が協力して子育てできる環境をつくる</div>	<div>次代の親づくり支援の充実／結婚活動の支援</div> <div>妊娠・出産からの切れ目のない子育て支援／不妊の支援／楽しく子育てができる環境づくり 等</div> <div>特色ある教育の推進／郷土教育の推進／いじめ・不登校対策の推進</div> <div>ワーク・ライフ・バランスが実現できる環境づくり／多様な働き方の実現及び見直しの啓発</div>
	<div>安心して便利に暮らせるまちをつくる</div> <div>数値目標 (H31)</div> <ul style="list-style-type: none">公共バス路線の延長(距離): 41.4km徘徊ネットワーク見守り市民会員登録数: 100人	<div>多極ネットワーク型のコンパクトなまちづくり</div> <div>「医学」を基礎としたまちづくり(MBT構想の展開)</div> <div>安心して暮らし続けることができるまちづくり</div> <div>歴史と風土を活かしたまちづくり</div> <div>多様な主体との連携・協力によるまちづくり</div>	<div>大和八木駅・県立医大・梶原神宮前駅周辺地区のまちづくり／公共交通ネットワークの再整備 等</div> <div>大学サテライト(まちなかラボ)・病院サテライトの整備支援／地域コミュニティの強化支援 等</div> <div>ICTを含めた地域包括ケアシステムの推進／地域を支える仕組みづくり／梶原市版「小さな拠点」の整備促進 等</div> <div>歴史的な景観の保全／歴史的遺産の活用(日本遺産等)／世界遺産登録の推進／生物多様性の保全と里地里山の保全・保護</div> <div>市民との協働／官民連携／大学との連携／近隣自治体との広域連携</div>

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 取組体系案



今後のスケジュール

本年度（計画策定）



来年度

